

2022 年度 DPC 調査参加病院向け
DPC データ提出支援ツール

マニュアル

株式会社健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）

(Planning, Review and Research Institute for Social insurance and Medical program(abbr. : PRRISM))

本紙内において用いられる「PRRISM」は全て弊社の略称を意味します

目次

注意事項	3
1. 概要	4
1.1. 機能説明	4
1.2. 動作環境	4
2. 起動と設定	5
2.1. 起動方法	5
2.2. 初回起動時認証	5
3. 画面操作説明	6
3.1. メインメニュー画面	6
3.1.1. 実行モード	7
3.1.2. K ファイル生成ボタンが無効のとき	7
3.1.3. 形式チェックボタンが無効のとき	7
3.1.4. 形式チェックボタン押下でエラーが出る場合	8
3.2. 登録情報変更画面	9
4. Q&A	10
5. 問い合わせ方法	11

注意事項

ソフトウェアのご利用にあたりましては、以下の内容にご注意ください。

下記のソフトウェアおよびマニュアルは、「DPC 導入の影響評価に係る調査」に参加する医療機関が、データを作成することを支援する目的で配布するものであり、それ以外の目的での利用を禁止しています。

また、調査参加病院以外の医療機関が利用すること、内容に基づいて類似のソフトウェアを開発することを禁止します。

- ・ 「DPC データ提出支援ツール」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール_インストールマニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール_操作マニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール_Q&A」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール_EF ファイル統合機能マニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール_K ファイル生成機能マニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール_形式チェック機能マニュアル」
- ・ 「単体チェックエラーコード一覧表」
- ・ 「相関チェックエラーコード一覧表」

また、以下の内容は、作業前に必ず確認してください。

- ・ 使用前に本マニュアルをよくお読みになってください。
- ・ お読みになったあとは、いつでもご覧できるように保管してください。
- ・ 本マニュアルでは、当ソフトの設定／使用を行う上で必要となることを記載しております。一般的なパソコンの操作や設定については、お使いのパソコンのマニュアルや市販の書籍等をご覧ください。
- ・ 本マニュアルの内容の無断転載・無断複写を禁止します。
- ・ 内容について、万が一不審な点や誤り、記載漏れ等お気づきのことがありましたら DPC 調査事務局までご連絡ください。

1. 概要

1.1. 機能説明

DPC データ提出支援ツールは下記の機能を有します。また、それぞれの操作方法につきましては、下記マニュアルを参照ください。

- ① EF ファイル統合機能 操作マニュアル：「EF ファイル統合機能マニュアル」
「DPC 導入の影響評価に係る調査」において、厚生労働省にデータを提出するにあたり、各医療機関で作成した E ファイル（入院および外来）、F ファイル（入院および外来）を統合して EF 統合ファイルを作成するため、調査参加医療機関向けに配布する機能です。
- ② K ファイル生成機能 操作マニュアル：「K ファイル生成機能マニュアル」
「DPC 導入の影響評価に係る調査」において、厚生労働省にデータを提出するにあたり、各医療機関で作成した K ファイル生成用データから、K ファイルを生成するため、調査参加医療機関向けに配布する機能です。
- ③ 形式チェック機能 操作マニュアル：「形式チェック機能マニュアル」
「DPC 導入の影響評価に係る調査」において、厚生労働省にデータを提出する前に各医療機関でデータ形式に係わるチェックを事前に行い、データ精度を向上させる目的で、調査参加医療機関向けに配布する機能です。

1.2. 動作環境

OS	Windows11(64bit) Windows10(32bit,64bit) Windows8.1(32bit,64bit) ※3
DB	SQLServer2014 Express SP3 ※1
CPU	SQLServer で要求されている性能を満たすもの ※Pentium4 以上推奨
メモリ	2GB を超えるもの
システムドライブの空容量	1GB 以上【推奨】（200MB 以下は不可）
セットアップ先のドライブの空容量	1GB 以上【推奨】（200MB 以下は不可）
必要コンポーネント	.Net Framework3.5 .Net Framework4.0 ※1
Excel	2013,2016,2019,2021 ※1,4 （各バージョン 32bit）（ストアアプリ版 不可）※2

※ 1：形式チェック機能を使用する場合に必要です。

※ 2：「ストアアプリ版」での利用の対応はしていません。ご利用時は、「デスクトップアプリ版」のインストールが必要です。

※ 3：Windows 8.1 につきましては、2023 年 1 月 10 日をもってマイクロソフト社の延長サポートが終了する予定となるため、その後の動作保証は出来かねますことをご了承ください。

※ 4：Excel2013 につきましては、2023 年 4 月 11 日をもってマイクロソフト社の延長サポートが終了する予定となるため、その後の動作保証は出来かねますことをご了承ください。

本ソフトは使用する PC の環境設定などにより、正常な動作をしない場合があります。

また、完全に動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

2. 起動と設定

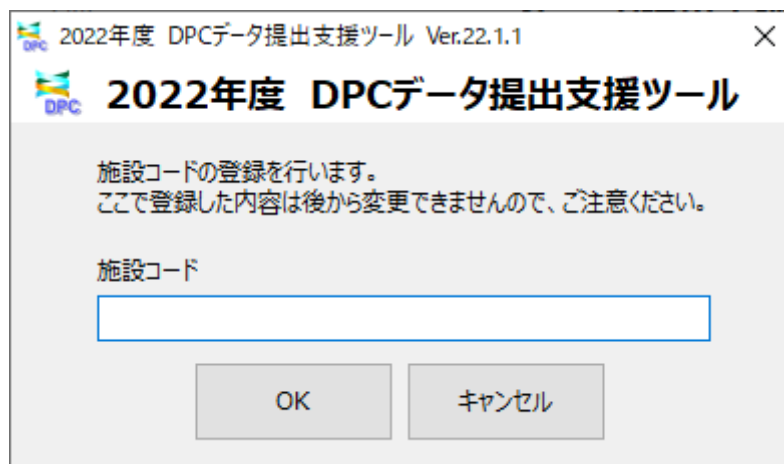
2.1. 起動方法

「スタートメニュー」→「PRRISM」→「**2022** DPC データ提出支援ツール」を選択（またはデスクトップに作成されたショートカットをクリックするなど）することで、ソフトが起動できます。

2.2. 初回起動時認証

インストール後、初めて起動するときは、下記の画面が表示されますので施設コード（県コード 2 桁＋医療機関コード 7 桁の計 9 桁の数字）を入力してください。

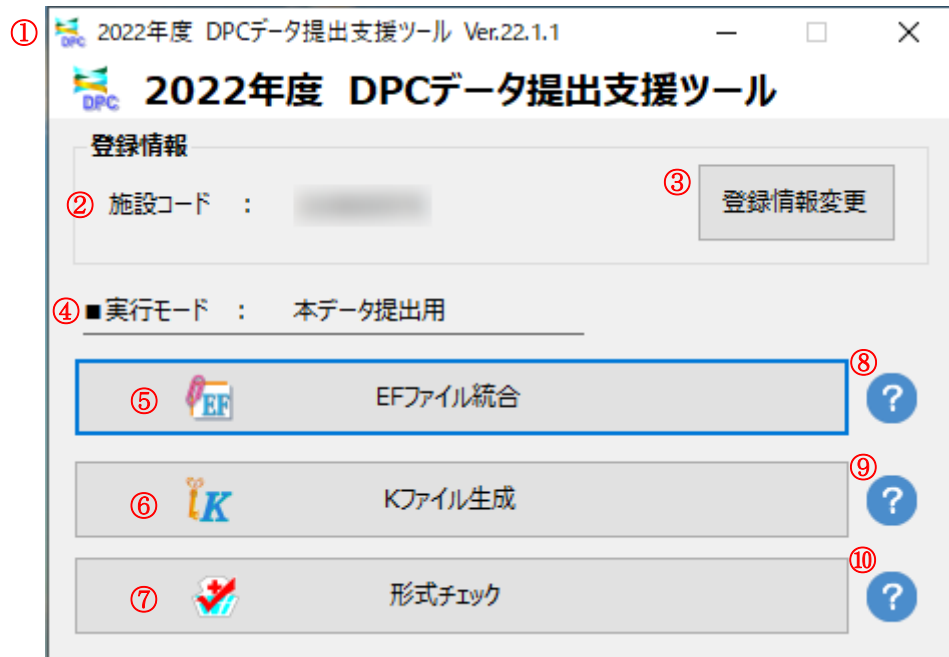
入力後、[OK]ボタンを押下して施設コードが認証されると、メインメニュー画面が開きます。



※施設コードを入力してもメイン画面が開かず、メッセージが表示される場合は、Q&A のマニュアルの No.9 を参照ください。

3. 画面操作説明

3.1. メインメニュー画面



項目	説明
①	ソフト名とバージョンが表示されます。
②	登録された施設コードが表示されます。
③	[登録情報変更]ボタン押下で、変更確認メッセージが表示されます。※ 1
④	ソフトの実行モードが表示されます。
⑤	[EF ファイル統合]ボタン押下で、EF ファイル統合機能のメイン画面が表示されます。以降の操作方法は「EF ファイル統合機能マニュアル」を参照ください。
⑥	[K ファイル生成]ボタン押下で、K ファイル生成機能のメイン画面が表示されます。以降の操作方法は「K ファイル生成機能マニュアル」を参照ください。
⑦	[形式チェック]ボタン押下で、形式チェックのメイン画面が表示されます。以降の操作方法は「形式チェック機能マニュアル」を参照ください。
⑧	マークのボタンの上にマウスのカーソルを乗せると、EF ファイル統合機能の説明が表示されます。
⑨	マークのボタンの上にマウスのカーソルを乗せると、K ファイル生成機能の説明と、使用制限の詳細が表示されます。※ 2
⑩	マークのボタンの上にマウスのカーソルを乗せると、形式チェックの機能説明と、使用制限の詳細、SQLServer エラー時の対応が表示されます。※ 2

※ 1 : 確認メッセージで「はい」を選んだ後に登録情報変更画面が表示されます。

※ 2 : ボタンが押下できない、または押下時にエラーが出た場合、その隣にある「？」マークのボタンの上にマウスのカーソルを寄せ、表示されるメッセージを一度ご確認ください。

3.1.1. 実行モード

実行モードは施設のデータ提出の区分によって表示が変わります。

・本データ提出施設の場合

■ 実行モード : 本データ提出用

・試行データ提出施設の場合

■ 実行モード : 試行データ提出用

3.1.2. K ファイル生成ボタンが無効のとき



※試行データにおいては、
Kファイル提出不要のためご利用いただけません。

試行データにおいては、K ファイルは提出不要です。

そのため、実行モードが試行データ提出用の場合、K ファイル生成機能をご利用いただけません。

本データ提出用の使用については、試行データに合格し、様式 40-7 届出後、調査事務局から別途ご連絡させていただきます。

3.1.3. 形式チェックボタンが無効のとき



※形式チェック機能は6月末配布予定

形式チェック機能は、6 月末に配布予定です。それ以前はご利用いただけません。

配布連絡が来ているのに使用できない場合には、ソフトのバージョンが古い可能性がございます。

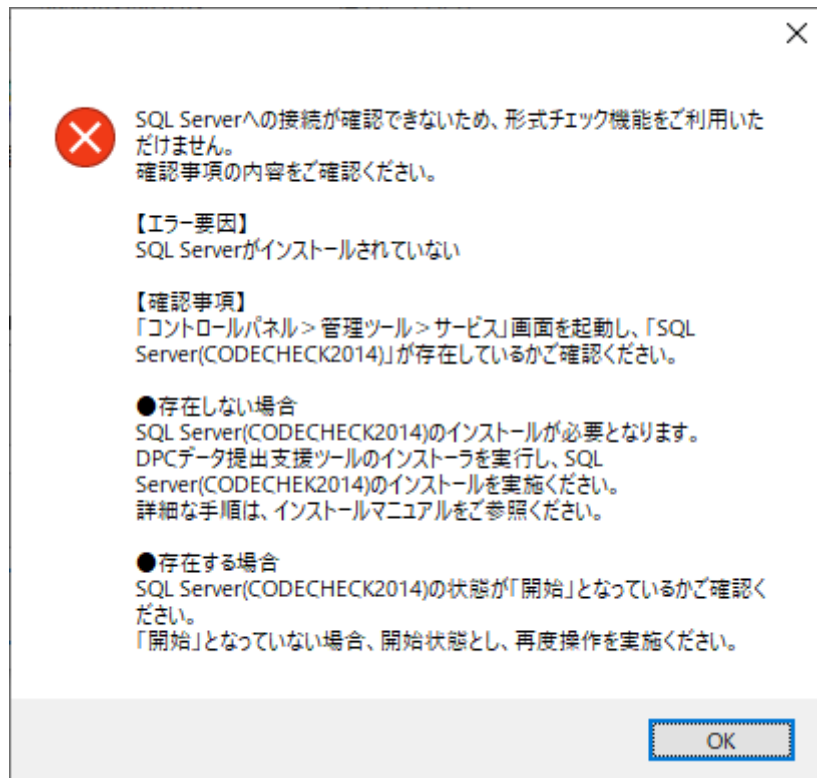
画面上部のバージョン表示と、DPC 調査事務局 HP 記載の最新バージョンが一致しているかご確認ください。

3.1.4. 形式チェックボタン押下でエラーが出る場合

【注意】

インストール時に MicrosoftSQLServer を「インストールしない」を選択している場合、下記のエラーが表示され、形式チェック機能を利用することができません。

形式チェック機能の使用には SQLServer のインストールが必須です。



【確認事項】の内容を確認いただき、「●存在しない場合」に該当する場合は、DPC 調査事務局 HP から最新版のインストーラを取得し、バージョンアップを実施してください。

バージョンアップ時に SQLServer をインストールすることが可能ですので、インストールを忘れずに実施してください。

また、最新のバージョンが現在のバージョンと同じ場合は、インストールマニュアルを参考に DPC データ提出支援ツールを「アンインストール」→「新規インストール」を実施してください。新規インストールをする際は、SQLServer のインストールを忘れずに実施してください。

3.2. 登録情報変更画面

メインメニュー画面の[登録情報変更]ボタン押下で、変更確認のメッセージが表示されます。メッセージ内容を確認いただき、変更没有问题な場合は、[はい]を押下してください。

項目	説明
①	施設コードを変更する場合の問い合わせ方法を記載しています。
②	問い合わせ返信に記載されているパスワードを入力する項目です。
③	[OK]ボタン押下で、入力されたパスワードが正しいか確認をします。
④	[キャンセル]ボタン押下で、この画面を閉じます。

■変更手順

1. 表示内容を参考に DPC 調査事務局までお問い合わせください。
2. 返信メールに記載されたパスワードを入力し、[OK]ボタンを押下してください。
3. 入力されたパスワードが正しい場合、解除のメッセージが表示されます。
4. メッセージ確認後、DPC データ提出支援ツールが終了します。
5. 再度ツールを起動すると、「[2.2. 初回起動時認証](#)」の画面が表示されるので、新しい施設コードを入力してください。

4. Q&A

「DPC データ提出支援ツール」の操作に関する Q&A、または「DPC データ提出支援ツール」のインストールやその他の機能に関わる Q&A については、「DPC データ提出支援ツール Q&A」のマニュアルを参照してください。

5. 問い合わせ方法

ツール使用時にエラーが発生し、Q&A など参照しても解決できない場合は、調査事務局宛にお問い合わせください。

また、お問い合わせの際は、早期解決のため、可能な限り下記項目の詳細なエラーの情報（画面キャプチャなど）をご送付いただきますよう、ご協力お願いいたします。

① どのような問題が発生したか

※状況把握のため画面キャプチャも併せて送付ください。

例) ツールを起動したら「○○○」と表示されたエラーが出た。

② 問題発生前後の状況について

例) 起動前にはバージョンアップを実施しており、またバージョンアップ以前に Windows Update を実施していた。エラー後は、手動で再インストールを行ったがエラーは解消されなかった。

③ パソコンの環境について

ツールを使用しているパソコンの環境をご教示ください。

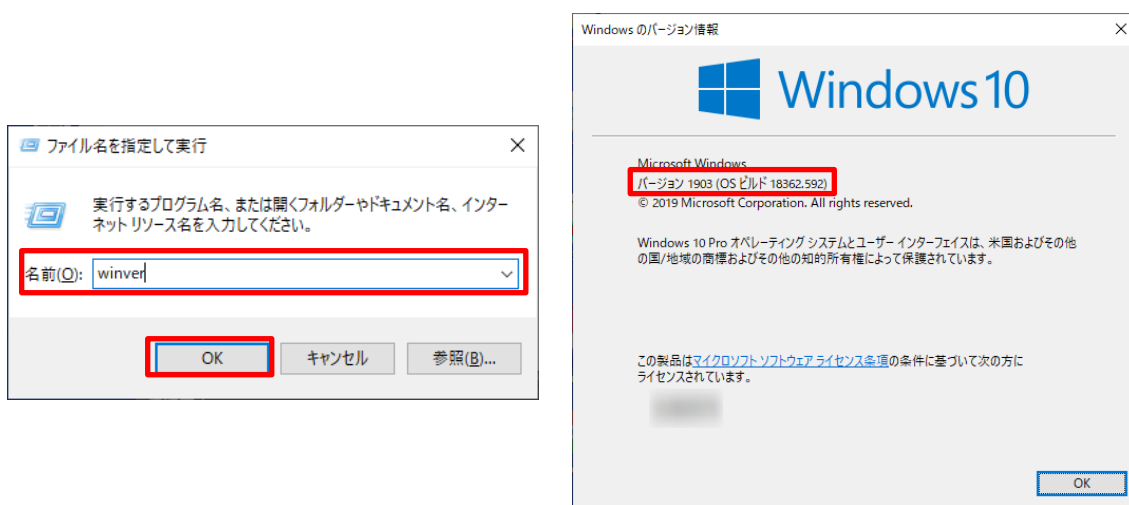
・OS/ビット数/バージョン/サービスパック

※これらの情報については、下記手順で確認できます。

・「OS/バージョン/サービスパック」

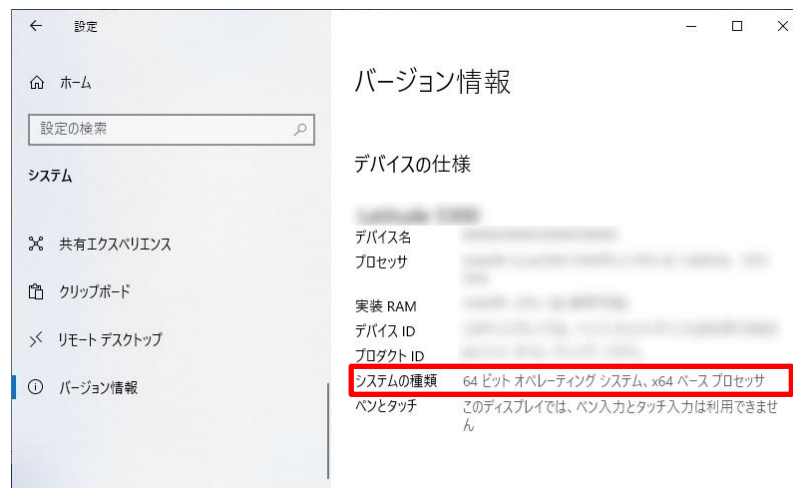
1. Windows キーを押しながら、R ボタンを押し、ファイル名を指定して実行を開く。

2. winver と入力し OK をクリックすると、バージョン情報等が表示されます。



・「ビット数」

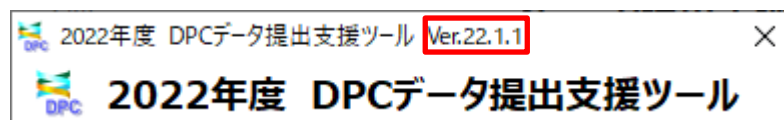
1. [スタート]メニューから[設定]をクリックします。
2. [システム]をクリックします。
3. [バージョン情報]をクリックします。
4. 表示された内容を確認します。



- ④ インストールされているツールのバージョンについて
現在パソコンにインストールされているバージョンをご教示ください。

■ ツールが起動できる場合

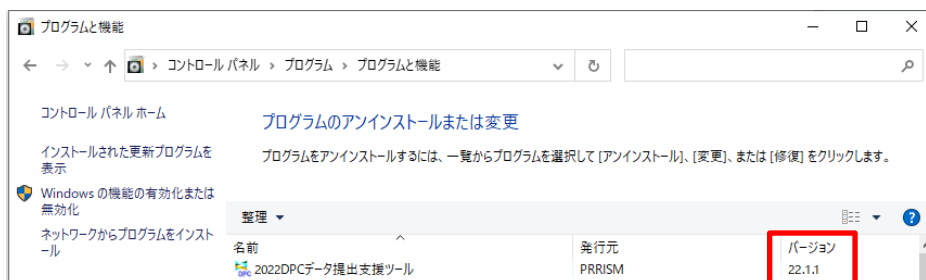
記載箇所例：ツール起動後のフォームのタイトルバー



■ ツールが起動できない場合

記載箇所例：「コントロールパネル」→「プログラムと機能」の「2022DPC データ提出支援ツール」
項目のバージョンの列

【プログラムと機能画像】



※セットアップの場合は、セットアップを行ったバージョンも併せて記載ください。

⑤ 配布ソフトのインストール状況について

「2022DPC データ提出支援ツール」以外に事務局で配布しているソフトがインストールされている場合は記載ください。

メールアドレス：dpc@prism.com

- 16 時 30 分までの質問に関しては、原則当日中に回答します（土日、祝日及び年末年始を除く）。
- 件名の先頭に自院の施設コード（9 桁）を記載してください。
- メールに、医療機関名、担当者名を必ず記載してください。
- 原則メールにてお問合せください。電話による問い合わせはご遠慮下さい。
- 診療報酬に係る疑義等については、回答できません。